

護岸ブロックの平均明度計測方法について

美しい山河を守る災害復旧基本方針(平成26年6月)参照
護岸ブロックの平均明度計測方法マニュアル(案)(平成26年6月)参照

①明度計測で使用する機器について右側に示す。

②撮影条件について以下に示す。

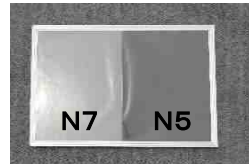
- ◇ **天候**
 - ・ 原則として、晴れの日撮影を行う。
 - 凹凸による陰影を考慮。
- ◇ **照度**
 - ・ 撮影に必要な照度は40,000(lx)以上。
 - 陰影を感知できる照度。
- ◇ **撮影時間帯**
 - ・ 午前10時～午後3時の間に撮影を行う。
 - 照度が安定する時間帯。
- ◇ **ブロック材齢**
 - ・ ブロック材齢は、2週間～1年以内とする。
 - * 濡れている状態で撮影を行わない。
- ◇ **積上方法**
 - ・ 対象ブロック単体とそれを取り囲む周りのブロックを必要最小数とし、法勾配1:0.5に積上げる。



デジタルカメラ
(指定のカメラ)



照度計



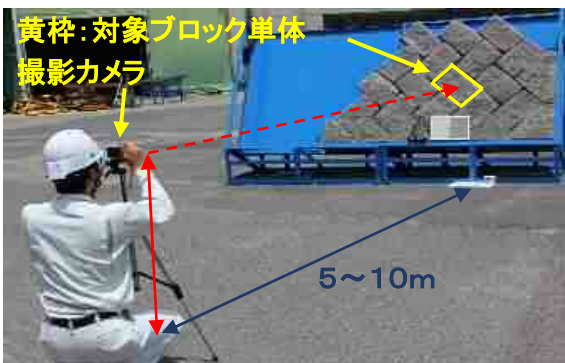
補正板



日時計

③撮影方法について以下に示す。

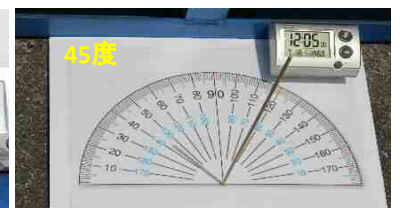
- ◇ **撮影位置**
 - ・ ブロックの中心から5～10m程度離れた位置から撮影を行う。
 - ・ 明度計測を行うブロックの中心部と同程度の高さにおいて撮影を行う。
- ◇ **撮影面積**
 - ・ 明度計測を行う対象ブロックと補正版がすべて撮影枠内に入るように撮影を行う。
- ◇ **光源の位置**
 - ・ 撮影位置と対象ブロックを結んだラインを基準とし、撮影位置と光源位置とのなす角が45°となる位置を確認し、撮影を行う。



撮影距離、高さ



照度計(拡大)

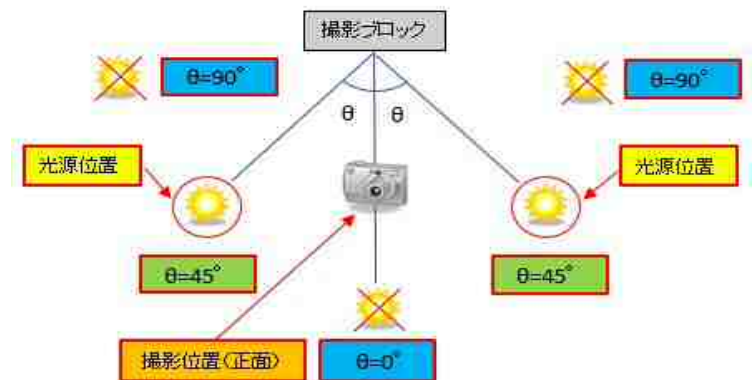


日時計(拡大)

④解析方法について以下に示す。

◇ **解析方法**

目地を含んだ面積の平均明度の算出を行い、カラーチャートの画像データをマッチングさせ、護岸ブロックの明度を決定する。



撮影位置と光源位置との平面位置関係